

**\* ヨハネの福音書の聖餐**

ヨハネはイエス様の伝道旅行中に語られたみことばを聖餐の言葉として記録しています。イエス様を信じることによって、イエス様のうちに私たちがとどまることとなり、また私たちのうちにイエス様がとどまってくださっている。イエス様と私たちがつながって一つになったと言えます。

**\* キリストによって生きる**

この6章56節から57節のことばと関連してイエス様はヨハネの福音書15章でぶどうの木のたとえを用いて弟子たちに語っています。イエス様にとどまるということはぶどうの木が水分や栄養を接ぎ木された枝に送るように、死んでいた私たちがイエス様からいのちが与えられ、ありとあらゆる祝福が恵みが私たちに与えられるということです。古い自分に死んでイエス様とつながって新しいいのちに生きる、生かされる。豊かな祝福を受けながら天国までの道のりを歩むことができる幸いです。

**\* キリストのために生きる**

パウロもイエス様のことばを受けてつながるということについて語っています。(ローマ6章1-13節) イエス様の十字架は、私たちの罪のために死んでくださった十字架です。そして私たちがイエス様によって生かされ、イエス様とともに生き、イエス様のために生きるための十字架です。今私たちはイエス様の十字架の救いがあるからこそ、新しい歩みをする事ができています。祝福の中に入れられています。新しいいのちを持つ者として接ぎ木された枝のごとくイエス様により頼んで生きたいと思えます。私たちの新しい人生はイエス様のためのものであることをここでもう一度確認したと思えます。イエス様のために生き、自分自身をイエス様にささげ、仕えていく生涯を歩みたい。いつまでもイエス様の十字架の恵みに応答して歩んでいきたいと願います。

**\* 感謝と献身の聖餐**

私たちが聖餐にあずかる時イエス様が私たちのうちに確かに住んでくださり、新しいいのちとあらゆる祝福が私たちに与えられていることを確認し、また確信したいと思えます。そして聖餐式を通して、私たちがイエス様によって生かされていることを感謝し、今ここに献身の思いを新たにして「救い主イエス様のために生きるのだ！」と、ともに主の前に告白したいと願います。